

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、当座預金残高が165~170兆円程度で推移する中、落ち着いた地合いが続いていた。ビッドの中心は週を通して大手行から0.055%、信託・証券業態からは0.06%程度であったが、14日は週末要因からか、大手行がレートを引き上げる動きが久々に見られ、0.06%を調達する場面も見られた。また、週前半には試し取りが複数見られたことで無担保コールO/N加重平均レートが0.068%まで上昇する場面も見られた。ターム物は大手行や証券業態から年内物の調達が見られた。固定金利方式の共通担保オペについては、13日に3M・8,000億円のオファーがなされ、結果は3,370億円(期落ち分4,831億円)と札割れになった。

今週のインターバンク市場は、17日にTB3M発行超過・2Y発行超過・5Y発行、20日にTB1Y発行超過・20Y発行などの資金不足要因があり、それぞれ大幅な不足日となる見通し。日銀のオペ実行を加味しても、週全体で大幅な資金不足になると考えられる。主要な経済イベントとしては、18・19日に日銀金融政策決定会合が開催される。

2. オープン市場

先週の短国市場は、先々週末の7日に実施された短国買入オペを受け、品薄感が強まっており、動意に乏しく閑散な状況が続いていた。13日に実施された3M物の入札は、WI取引において0.002%と強めの出合いが見られる中で行われ、結果は平均落札利回り0.0070%、最高落札利回り0.0111%となった。引き続き堅調ではあるものの、WI取引で見られた出合いほどの過熱感は見られなかった。14日には短国買入オペが12,500億円でオファーされた。前回のオペオファー額と比較して15,000億円の大幅減額となったものの、オファー額が少ないことが逆に市場の品薄感を強めたのか、オペアナウンス後には3M▲0.040%、6M▲0.025%、まで買い進まれた。この流れを受け、オペの結果も平均利回較差▲0.026%、按分利回較差▲0.051%と強めの結果となった。

先週のCP市場は、15日にかかる発行から機械、鉄鋼、商社業態からまとまった発行が見られたものの、発行総額は週間で5,200億円程度にとどまった。週を通して特段のイベントがない中、依然としてディーラー及び投資家の玉確保の動きは強く、a-1格以上の発行レートは0.09%近辺で落ち着いて推移していた。

今週の短国市場は、18日に1Y物、20日に3M物の入札が実施される。品薄状況が続く中、堅調な入札が予想される。CP市場は新方式になって2回目のCP等買入オペが実施予定となっており、落札水準が注目される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で3,800億円程度の発行超見通し。財政資金は、17日のTB3M発行超過・2Y発行超過・5Y発行、20日のTB1Y発行超過・20Y発行などを中心に7兆9,800億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で8兆3,600億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。＜17日＞TB3M;償還41,600億円・発行57,000億円／2Y;償還12,800億円・発行27,000億円／5Y;発行27,000億円／個人向け3・5・10Y発行2,200億円／個人向け3Y償還800億円＜19日＞交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円＜20日＞TB1Y;償還17,600億円・発行25,000億円／20Y;発行12,000億円／エネルギー対策借入;期日3,000億円・新規3,500億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
11/17 (月)	200	△ 61,800	△ 61,600	全店共通 (固) CP買入	△ 4,800 △ 400	3,400	△ 1,800	△ 63,400
11/18 (火)	0	△ 1,000	△ 1,000	国債買入 短国買入 社債買入	15,000 12,500 1,000		28,500	27,500
11/19 (水)	0	2,000	2,000				0	2,000
11/20 (木)	△ 2,000	△ 21,000	△ 23,000	CP買入	4,000		4,000	△ 19,000
11/21 (金)	△ 2,000	2,000	0				0	0
週 間 合 計	△ 3,800	△ 79,800	△ 83,600	0	27,300	3,400	30,700	△ 52,900

(注) 上表の11/17は日銀予想、11/18以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
11/17 (月)	7-9月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50)		10月の米鉱工業生産・設備稼働率
11/18 (火)	日銀政策委・金融政策決定会合 (1日目 14:00~)	TB1Y 25,000億円 11/20発行	10月の米生産者物価指数 10月の米消費者物価指数
11/19 (水)	日銀政策委・金融政策決定会合 (2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 9月の景気動向指数改訂状況 (内閣府 14:00)	20Y 12,000億円 11/20発行	ECB定例理事会(金融政策発表なし) 10月の米住宅着工件数
11/20 (木)	金融経済月報(日銀 14:00) 10月の貿易統計 (財務省 8:50)	TB3M 57,000億円 11/25発行	10月の米消費者物価指数 10月の米中古住宅販売
11/21 (金)		流動性供給 4,000億円 11/25発行	

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入